空飛ぶ円盤研究会機関紙

一九五六・七・一

創刊号

発行所 東京都品川区五反田1～268 五反田寮内 TEL(49)9557

世界の謎・宇宙の神秘を探る

〝空とぶ円盤〟は地球以外の星から飛来か？

この数ヶ月の間に全世界注目の的である「空飛ぶ円盤」に関する記事が漸く吾が国でも新聞、雑誌々上に新しいものはなかった程、相当人の間にもこのような文章通があったということは、円盤に対する科学的に実在の可能性が一般的に信じられるようになったのではあるまいか。

次いで五月九日には都内江東、北区方面の上空に〝空飛ぶ円盤〟等にしばしば現われるようになり宇宙旅行人工衛星の進展と共に急速に世人の関心を高めて来たようだ。

〝とおぼしきもの〟が発見され、目撃者が多数あらわれ、東京天文台では、否定も肯定もせず、一応、静観の態度をとっていた。

四月一日、読売新聞は夕刊一面トップに全世界注目の的である「空飛ぶ円盤」に関する記事が漸く吾が国でも新聞、雑誌々上に新しいものはなかった程、相当人の間にもこのような文章通があったということは、円盤に対する科学的に実在の可能性が一般的に信じられるようになったのではあるまいか。

次いで五月九日には都内江東、北区方面の上空に〝空飛ぶ円盤〟等にしばしば現われるようになり宇宙旅行人工衛星の進展と共に急速に世人の関心を高めて来たようだ。

〝とおぼしきもの〟が発見され、目撃者が多数あらわれ、東京天文台では、否定も肯定もせず、一応、静観の態度をとっていた。

空飛ぶ円盤研究会結成

北村小松氏ら招き 三月に五反田で

去る三月一日、「空飛ぶ円盤研究座談会」は、三月四日、五反田の水都会館で、約三〇人の会員が参集、席上、主宰者北村小松氏の司会のもとに開かれ、活発な意見の交換が行なわれた。

当日は特に円盤について研究されたが、しばしば発表された円盤研究第一人者である北村小松氏の来会を得て、貴重な海外の文献などを見せていただき、非常に得るところがあった。

また、その上、日本初の宇宙映画「宇宙人東京に現わる」をプロデューサーの中代富士男氏を迎えて、ご講演をいただき、特に企画中の第二回目宇宙映画の構想について、ほぼ、同氏の宇宙人への関心を高めて盛会裡に第一回の会合を終えた。

会員続々ふえる

結成当時三〇数名の会員であったが、その後各地域から入会者が相次ぎ、遂々埼玉県秩父市よりも入会希望者があり、六月十日現在で五〇名を越し、ますます増える見込み。五人の同心が思いやられる。

動力は光子ロケットか？

東大教授 工学博士 糸川英夫

先頃、バイツのゼンゲル博士が、光子ロケットの理論を発表して宇宙旅行は勿論、星間旅行までも現実のものとさせた。

これによると、ロケット燃料として最強力な物質は光子で、これによって宇宙旅行は勿論、星間旅行までも現実のものとさせた。

これによると、ロケットの出現により時間と日の旅行になろう。

前項、アメリカとヨーロッパの大騒ぎになっている〝空飛ぶ円盤〟も、どうやら他の惑星人の来訪と考えられる節が濃厚になってきている。

ゼンゲル博士の〝光子ロケット〟と可成り一致する節合いがある。

とまれ、光子ロケットの出現により時間と日の旅行になろう。

前項、アメリカとヨーロッパの大騒ぎになっている〝空飛ぶ円盤〟も、どうやら他の惑星人の来訪と考えられる節が濃厚になってきている。

ゼンゲル博士が、光子ロケットの理論を発表して宇宙旅行は勿論、星間旅行までも現実のものとさせた。

これによると、ロケット燃料として最強力な物質は光子で、これによって宇宙旅行は勿論、星間旅行までも現実のものとさせた